

The Rotary Club of Sapporo Odori Park

札幌大通公園ロータリークラブ
ライラック通信(2009/2/16号)

会長 大坂忠 幹事 高橋宏

第330回例会報告(2009年2月9日)

- ・菅原会員から大学側から見た昨今の受験事情についての卓話をいただきました。
- ・少子化が進む中、大学側も生徒数を確保せねばならず、ほぼ1年中何らかの形で受験を行っているということで、その膨大な事務作業量は想像に難くありません。
- ・それでも大学の数は増えているというのですから、日本の教育現場の大変さを理解することができました。

第331回例会予定(2009年2月16日)

- ・卓話(学友会・北星大学・片岡氏:平和学)

第333回例会予定(2009年3月2日)

- ・クラブフォーラム
- ・2月23日はIMの移動例会の為休日です(受付有り)。

環境問題基礎知識(第25回:氷河の融解)

世界的な氷の融解は、異常な暑さを記録した1990年代にはじまりました。暑さ対策の為にエアコンを過剰に使い、温室効果ガスを大量に排出するようになったからです。

ヒマラヤやヨーロッパアルプスに夏でも残っている氷雪は、太陽熱エネルギーを宇宙に反射して地球の地表温度が上がるのを防ぎ、地球が人間の生存に適した気温を保つのに役立っています。

氷雪が解けると、太陽熱エネルギーを反射できないばかりか、熱を吸収して内部の氷の融解を進めてしまうので、まさに悪循環です。

また、高山の氷河が融解すると、あちこちに湖が生まれます。湖が飽和状態に達すると決壊して近隣や麓の人間の暮らす地帯に洪水をもたらすおそれがあります。

さらに洪水は海へと達して海面が上昇させるので、氷河の融解は、他人事では済まされません。